

来て見て永平寺町

観光ボランティアニュース

永平寺町観光ボランティアガイドの会 広報紙 第6号

平成28年3月18日 発行

<発行元>

永平寺町観光ボランティアガイドの会
(永平寺町役場商工観光課内)

永平寺町松岡春日1-4 (TEL 61-3921)

永平寺の森の生き物たち (後編)

今回は永平寺の森を支える植物や植生について。面的な広がりを生と呼び、把握する為に現地確認や航空写真判読等により、相観植物図作成し植物調査に当たったものです。

春頃には背丈の低い草花が多く見られます。スミレ類は国内では約50種類が生育しており春の代表的な花として親しまれています。

ここ永平寺の森では、タチツボスミレ、スミレサイシン、ナガハシスミレなど主に日本海側に生息する種類やコタツツボスミレなど西日本を中心に生息する種類など18種類が確認されています。

春を特徴づける植物にスプリングエフェメラル(別名 春の儂いもの)と呼ばれている植物があります。

雪解けの春先に花を咲かせ、夏頃には地上部が枯れて儂さが総称とされる所以でしょう。永平寺の森では、その代表的な種類として、アズマイチゲ、キクザキイチゲ等の生育が確認されています。両種は天気が悪い日は首を垂れてそのまま咲かず。晴れた日には大きく開花することが特徴です。この時期山のを訪れる人々に人気の種類です。

ワラビ、コゴミ、タラの芽、ワサビ、ヤマブキ等。山菜に利用される種類も多く生育しており、訪れる人の目を楽しませています。(西)



スプリングエフェメラルの一種

光を観る

年末年始、一年の反省と思い出。次なる計画立案。楽しい時を過ごしています。

明治維新から150年近く。昭和10年代生まれとしては半分以上生きたことになります。明治の廃仏毀釈とは何だったのでしょうか。昨年神社仏閣にお参りして感じたことを一つ。

日本人にはよく宗教観がないと言われていますが本当でしょうか。世界の宗教の常識と違うだけでしょう。自然崇拝これこそが日本人の宗教でしょう。神仏習合を嫌い近代化を急いだ明治も日本人の心を変えることは出来ませんでした。戦前から特に戦後、山岳宗教は隆盛を極めています。私たちの琴線に触れるからでしょうか。白山の周囲には泰澄伝承が各地に有ります。吉野ヶ岳は勿論ですが、南地区には今も神仏習合の名残があります。

九頭竜で禊して、松岡公園から、蔵王山、剣山、大仏寺山、祝山、川を渡って鷲ヶ嶽、浄法寺山、鳴鹿山、白山を遙拝しながら縦走しよう。あ、ゴメンゴメン、これは私の初夢でした。(野崎)



白山市役所からの白山

©白山市観光協会

へいぎょうじ
一島山平慶寺

松岡兼定島にある平慶寺は古くは天台宗であり、平泉寺から住職が着任し勤めていたが、十五世紀後半頃、浄土真宗大谷派に改宗。平泉寺に流罪となった一島入道という皇子（平安末期の後白河法皇の子）が移り住み亡くなった後、入道と共についてきた平泉寺の僧、祐定法師がその宮跡（130坪）に菩体を弔ったのがこの寺の始まりと言われている。

そして、入道を弔ったところが帝王三昧といわれ、そこは今は土地改良などにより高速道路の下となり、その由来を長く残すため昭和46年夏、平慶寺境内正面南に「帝王三昧尊儀」の供養碑を建立。

松岡藩の昌勝公は川狩りや川遊びが大好きでお忍びで行われることもしばしば、平慶寺の祐全もお供に加わったこともあるようだ。ある日川狩りをしていた昌勝公が激流でおぼれたのを助けた。それから平慶寺に対して朱印地として税金を免除したり、当時は藩が支配していて一般には持てない船の使用が許可されたりと庇護の制札が与えられた（吉田）



平慶寺

誇り

日本の国には幸福な国で憲法で守られ人々は、学問と法律で学び、旅をする人々が多い。遠い昔から江戸時代地方の大名が江戸へ参勤交代で旅する為に家来を従えて、沢山のお金を使い、長旅の為に村々で宿を取り、道を作り地方の生活を見習い、国が発展してきたのである。

我が永平寺町においては永平寺本山開祖道元禅師が中国に渡り天童山景德寺に学び、決死の思いで日本に帰り、大衆に人々に生活の心を教え伝えた偉大な人が福井の地に住まわれたことは永平寺町の、福井県の誇りではないかと思います。（長谷川）



研修会レポート

先進事例に学ぶ

2月2日、外部より講師を招き、研修講演会を行いました。講師は、NPO法人加賀白山ようござった理事 辻貴弘氏です。辻氏は白山市の観光ボランティアガイドですが、石川県観光ボランティアガイド連絡協議会企画理事として活動の傍ら、日本観光振興協会に所属し全国各地で講演活動をされています。

今回、観光ボランティアガイドが地域で担う役割についてお話いただきました。具体的な活動例として、白山市での子供たちが地元を誇りを持って住み続けることができるような町づくりについて挙げられ、ガイド活動が地域に与え得る影響力の大きさについて語られました。

講演で理解したことのひとつは、地域の方と外部からのお客様を結びつけることが観光ボランティアガイドの役割ですが、地域の方との結びつきが不可欠だということです。観光客のお客様にも地域の人々にも喜ばれるよう、活動していきたいと思います。（畑）



講演会の様子

観光ボランティアガイド会員募集中！ 観光ボランティアガイド北陸大会ボランティアスタッフ募集！

お問合せは、事務局まで